

在宅医療・介護連携推進事業：住民啓発（事例）

鳥取市用瀬町「愛の訪問協力員・となり組福祉員」合同研修会

テーマ： ACP（アドバンス・ケア・プランニング）のすすめ

～考えてみましょう、話し合ってみましょう～

日時： 平成31年3月11日（月） 10:00～11:00

場所： 用瀬地区保健センター

参加者： 23名

【概要】

DVD「我が家に帰りたい（第一幕）」を参考に、地域包括ケアシステムの概要と、その中でも自助・互助がとても大切というお話しをしました。

ACPについては、DVD（第二幕）、ACPパンフレット、終活支援ノートのお話しを交えながら解説し、また、自分の考えを伝えられなくなった時に自分ならどうして欲しいかを参加者の皆様に考えていただきました。話し合っていました。



【講師感想】

普段から、心づもりを家族や大切な人たちと共有しておくことが大切とお話ししました。話し合いでは短い時間でしたが、経験されたことなどを踏まえ熱心な話し合いをされていました。

「延命はして欲しくない」などの声も聞かれ、気になっていることを話し合う時間が作れたかと思えます。DVDの主人公の言葉に反応の声もあり、思い当たる光景だったのではないのでしょうか。

（講師：東部医師会在宅医療介護連携推進室 秋田和秀・廣山 恵）